

調査研究資料 No. 129
2011



求職者に対する訓練コースの
コーディネーター等に関する調査研究
(教育訓練機関に対する
離職者訓練コーディネータープロセスの確立)
－中間報告－

独立行政法人雇用・能力開発機構

職業能力開発総合大学校能力開発研究センター

はじめに

バブル崩壊からの就職氷河期、非正規労働者・不安定就労者の増大などの雇用情勢の変化に合わせ、その都度、国による種々の緊急雇用対策が展開されてきた。そして、今般の金融危機を伴う雇用情勢の悪化の対し、平成21年度には、第2の雇用のセーフティネットとしての緊急人材育成支援事業による職業訓練（以下、「基金訓練」という。）、平成23年度中には、第9次職業能力開発基本計画の取組及び求職者支援制度の開始など新たな労働政策が進められている。

このような国主導で実施されてきた労働政策、その中でも安定した職業生活に資する職業訓練の機会拡大に対しては、(独)雇用・能力開発機構（以下、「能開機構」という。）がスケールメリットを活かした機動的な対応で大きく貢献してきたところである。

また、更なる職業訓練の機会拡大には、都道府県立の公共職業能力開発施設や外部教育訓練機関等（民間活力）とも協働する必要があるとあり、特に職業訓練運営経験の浅い外部教育訓練機関等では、能開機構の培ってきた職業訓練に関するノウハウの移転が望まれている。

このような情勢の中、平成23年度中には、能開機構が廃止され、職業能力開発事業が新法人へ業務移管されることから、能開機構の職業訓練に関する事業を遅滞なく移行することも求められる。また、新法人においては、組織の見直しなど想定されることから、効率的かつ的確な職業訓練の運営が求められる。

今年度は、中間報告として基金訓練などの制度により新たに職業訓練を実施する外部教育訓練機関等に対して、移転が必要となるノウハウや助言・指導すべき項目について、能開機構の各施設に赴いて現状を調査し、職業訓練の新設・実施・運営のプロセスを「訓練コースのコーディネートプロセス」の骨格として整理した。

本資料は、中間報告として取りまとめたが今後も調査研究を進めることとしており、これらの調査研究成果が新法人、都道府県の公共職業能力開発施設、及び外部教育訓練機関等などでの職業訓練の機会拡大と職業訓練の質の保証・向上の一助となれば幸いである。

2011年3月

職業能力開発総合大学校
能力開発研究センター所長
川村英治

求職者に対する訓練コースのコーディネート等に関する調査研究
(教育訓練機関に対する離職者訓練コーディネートプロセスの確立)
－中間報告－

研究担当室

大野 武	職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター 開発研究部 訓練技法研究室室長
嶋野 智章	職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター 開発研究部 訓練技法研究室研究員

目 次

第1章 研究テーマの背景と目的	1
第1節 研究テーマの背景	3
(1) 雇用情勢と政策動向	
(2) 能開機構の職業訓練に関する動向	
(3) 訓練カリキュラムの策定	
(4) 研究テーマの目的	
第2節 離職者訓練（緊急人材育成支援事業含む）を取り巻く環境	8
(1) 離職者訓練を取り巻く環境	
(2) 職業訓練全般に対する研究テーマの対象範囲	
(3) 緊急人材育成支援事業（基金訓練及び訓練・生活給付）	
第3節 （独）雇用・能力開発機構の離職者訓練に関わる者と支援ノウハウ	11
(1) 求職者に対する支援ノウハウ	
(2) 外部教育訓練機関に対する支援ノウハウ	
(3) 対事業主・団体に対する支援ノウハウ	
第2章 職業訓練コースのコーディネートの実態と課題	15
第1節 職業訓練コースコーディネートに必要なもの	17
(1) 職業訓練に必要な物的資源・設備機器	
(2) 職業訓練に必要な人的資源	
(3) 職業訓練に必要な知的資源	
(4) 各種申請書（出典：基金訓練認定申請書一式）	
第2節 知的資源の確認	18
(1) 能開機構の有する主な知的資源	
(2) その他の主な知的資源	
第3節 実態調査（ヒアリング報告）	20
(1) 公共職業訓練の概況	
(2) 基金訓練の概況	
(3) ヒアリング調査の概要	
(4) 実践型人材養成システムの事例	
(5) 委託訓練、企業実習先行型訓練、雇成型訓練等の事例	
(6) 緊急人材育成支援事業による職業訓練（基金訓練）	
(7) ヒアリング調査から散見される問題・課題	
第3章 離職者訓練コーディネートのプロセスの骨格	29
第1節 プロセスⅠ：開拓（営業）活動	31
(1) 開拓先の抽出	

(2) 各種制度の理解	
(3) 各種制度の選択・説明	
(4) ワークガイダンス講師育成講座	
(5) (基金訓練版) ジョブ・カード講習	
第2節 プロセスⅡ：訓練概要策定・訓練コースの開設・実施	34
(1) 訓練ニーズの把握	
(2) 訓練目標・仕上がり像の設定	
(3) 訓練カリキュラムの策定	
(4) 訓練計画の策定(スケジュール、教材、講師など)	
(5) 広報・募集・入所選考	
第3節 プロセスⅢ：訓練コースの運営・管理	36
(1) 巡回指導	
(2) 就職支援・指導	
(3) クレーム対応	
第4節 プロセスⅣ：訓練終了・就職	37
(1) 訓練終了後の受講生のフォローアップ	
第4章 次年度への課題	39
第1節 第9次職業能力開発基本計画(案)、求職者支援制度(案)との関係	41
(1) 第9次職業能力開発基本計画(案)との関係	
(2) 求職者支援制度(案)との関係	
第2節 次年度の研究方針	42
(1) 我が国全体の職業能力開発のプロデュース機能(総合調整機能)の強化	
(2) 職業訓練の質の保証	
(3) 離職者訓練コーディネートプロセスの精査	
(4) 次年度の研究方針	